

第10回(2024年) ヨーゼフ・クライナー博士記念 法政大学国際日本学賞

受賞者



Fynn Holm
フィン・ホルム

Junior Professor of Japanese Studies, University of Tübingen

受賞作品

*The Gods of the Sea:
Whales and Coastal
Communities in Northeast
Japan, c.1600-2019.*
(Cambridge University Press, 2023)

2025年

3月10日(月)



授賞式・記念講演会

【記念講演】

「東北地方を例にした日本の捕鯨史再考」

日本は長い捕鯨の歴史を持つ国としてしばしば想像されますが、近世日本の一部地域では何世紀にもわたって捕鯨が行われていませんでした。日本の東北地方の沿岸コミュニティが、他地域の捕鯨者からクジラを保護してきましたが、その理由は、クジラは海の神であり、魚を海岸に運ぶ存在と信じられていたためです。

最も有名な例として、1911年11月1日、東北地方の八戸近郊で、西日本の捕鯨業者による産業捕鯨基地が1000人以上の漁師たちによって焼き討ちされる事件が挙げられます。この暴動は、17世紀にさかのぼる反捕鯨運動の一連の例の中で、最新のものでした。

20世紀初頭に産業捕鯨が到来したことで、人間とクジラとの何世紀にもわたる非致命的な関係は、わずか数年で破壊されました。その代わりに、東北地方のコミュニティは、西日本の捕鯨文化から要素を取り入れ、新しい捕鯨の伝統を創造しました。これにより、東北地方は日本の産業捕鯨文化の中心地となりました。現在では、非捕鯨地域としての東北地方の歴史的な起源はほぼ忘れ去られています。

・授賞式	17:00~17:20(日本時間JST)
・講演会	17:30~18:30(日本時間JST)
・使用言語	日本語
・開催方法	Zoomによるオンライン開催
・参加費	無料
・参加方法	事前申込が必要です

お申込みいただいた方へのみ接続先をお知らせいたします
ので必ず事前申込をお願いいたします。申し込みサイト:
<https://forms.sle.io/zeUVR4vDagvjz87>

